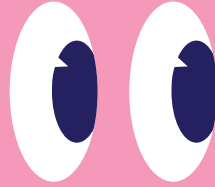
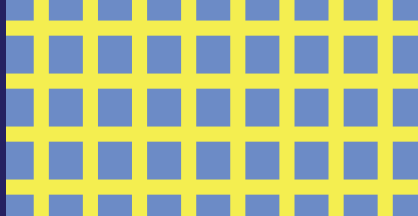
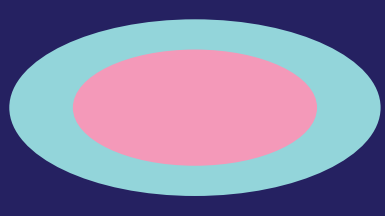
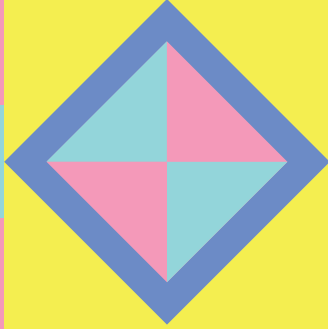
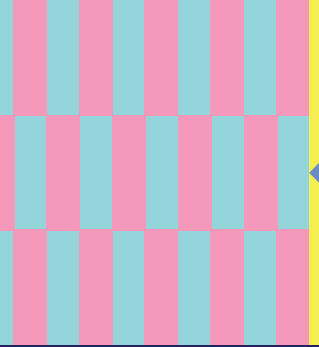


形のカ

眼 の カ



1

8/22
土曜日

ホントの世界はどこにある？

—シュルレアリスム絵画が問いかける
眼と形の「不確かさ」

平井章一 関西大学文学部教授

2

9/19
土曜日

写しと贋作

—東アジアの書画鑑定

河野道房 同志社大学文学部教授

3

10/17
土曜日

錯視のアートとデザイン

北岡明佳 立命館大学総合心理学部教授

4

11/21
土曜日

陰翳から感じる品格

千田優希 唐長十二代目

5

12/19
土曜日

視覚の裏切り？

アナモルフォーシス(歪像)の魅力

深谷訓子 京都市立芸術大学准教授

6

2027
1/16
土曜日

古典生花の規矩にみる形の美しさ

芦田一寿 華道遠州宗家

7

2027
2/20
土曜日

絵の中の時間

—大画面法華経絵の絵解き

原口志津子 奈良大学文学部文化財学科元教授・富山県立大学名誉教授

8

2027
3/20
土曜日

「八方睨みの虎」の秘密

—絵画平面の力

井面信行 近畿大学名誉教授

開講時間

14:00~15:30

(質疑応答で30分ほど延長される場合があります)

会場

同志社大学今出川校地寧静館 N36 教室

京都市上京区今出川通烏丸東入

定員

100名(随時受付)

受講料

全8回 8,000円(税込)

『須田記念 視覚の現場』2冊(春季号と秋季号)進呈

※2025年度に受講していただいた方は、全8回7,000(税込)にさせていただきます。※通年受講者とは別に、1回毎の聴講者を受け付けます。1講座(税込1,100円)のみご希望の方は、事務局までお問合せください。

申込方法

財団ホームページに記載の「受講申し込みフォーム」か「お問合せフォーム」に必要事項をご記入のうえ事務局まで送信してください。また、ファックス(075-320-2582)でもお受けします。

お問合せ

公益財団法人きょうと視覚文化振興財団事務局
〒607-8154 京都市山科区東野門口町13-1-329 TEL:075-748-8232
FAX:075-320-2582 Email: info@kyoto-shikakubunka.com
Hp:https://kyoto-shikakubunka.com

主催

公益財団法人きょうと視覚文化振興財団

形の力 眼の力

人間の眼は単に何かを「見る」だけ、あるいは何か「見えている」だけではなく、眼そのものに創造力があります。「視覚文化連続講座シリーズ7」は「形の力 眼の力」という統一テーマの下、狭い意味での美術に限らず、「形」と「眼」が協働して産み出す魅力的な、あるいは不思議な世界を様々な方向から解き明かしたいと思います。奮ってご参加下さい。

1 ホントの世界はどこにある？

—シュルレアリスム絵画が問いかける眼と形の「不確かさ」

内容：○シュルレアリスムとは
○ダブル・イメージ、コラージュ、デペイズマン
○100年前と今日を結ぶもの

講師：平井章一 関西大学文学部教授

兵庫県立近代美術館学芸員、国立新美術館主任研究員、京都国立近代美術館主任研究員などを経て2018年から現職。専門は日欧米の戦後美術、特に1950～70年代の前衛的な動向。著書に『「具体」ってなんだ？』（美術出版社）など。



5 視覚の裏切り？

—アナモルフォーシス(歪像)の魅力

内容：○遠近法、透視図法の発展・応用
○西洋近世のイリュージョニズム
○視覚的トリックを越えて

講師：深谷訓子 京都市立芸術大学准教授

16、17世紀のネーデルラント美術を、とくに他地域との交流という観点から研究。著書に『ローマの慈愛：「キモントペロー」の図像表現』（京都大学学術出版会）、『カーレル・ファン・マンデル「北方画家列伝」註解』（中央公論美術出版、共著）など。



2 写しと贋作—東アジアの書画鑑定

内容：○真贋鑑定の難しさ
○日本・中国書画の事情
○オリジナルだけが芸術じゃない

講師：河野道房 同志社大学文学部教授

1958年愛知県生まれ。大阪府立大学を経て2013年より現職。博士(文学)。専門は中国を中心とする山水画史、画論史、文人画論、墳墓壁画等。著書に『中国山水画史研究—興行き表現を中心に—』（中央公論美術出版）など。



6 古典生花の規矩にみる形の美しさ

内容：○古典いけばなのデモンストレーション
いかにして形の伝承をつないだか
○陰陽と天地人の構成に見る日本の感覚
○自然崇拜と花の関係

講師：芦田一寿 華道遠州宗家

1993年、華道遠州宗家に就任。全国支部への講演・講習会・花展参加。デモンストレーションなど多数。ドラマのいけばな監修やイベントの装花など多数。



3 錯視のアートとデザイン

内容：○錯視とは何か ○錯視の種類
○錯視の科学
○錯視をアートする、デザインする

講師：北岡明佳 立命館大学総合心理学部教授

1961年高知県生まれ。専門は知覚心理学。錯視(視覚性の錯覚)を研究するだけでなく、デザインも得意とする。錯視に関する論文・著書多数。2002年より錯視デザイン満載のウェブサイトを運営。2021年にJournal of Illusion誌を創始。



7 絵の中の時間—大画面法華経絵の絵解き

内容：○本法寺蔵「法華経曼荼羅図」の紹介
○大画面法華経絵の絵解き
○流転の法華経絵

講師：原口志津子 奈良大学文学部文化財学科元教授
富山県立大学名誉教授

1960年生まれ。専門は日本中世絵画史。本法寺蔵「法華経曼荼羅図」に関する研究で学位(京都大学)取得、坂本日深学術賞受賞。



4 陰翳から感じる品格

内容：○伝統建築の中での唐紙
○光の中にある品格
○現代建築、生活環境の中での色彩

講師：千田優希 唐長十二代目

Yuki / ゆき。唐紙師、Model、建築士。父一代目唐長(堅吉)の三人兄妹の長子。19歳から二条城、京都迎賓館、桂離宮など文化財や伝統建築の唐紙調査や復元。現在は唐紙を本業としながらモデルとして写真界に身を置き美を表現する。



8 「八方睨みの虎」の秘密

—絵画平面の力

内容：○「八方睨みの虎」—本当に目は動くのか？
○二次元平面の中の三次元空間
○三次元空間の中の二次元平面
○絵画平面の力

講師：井面信行 近畿大学名誉教授

1950年、三重県生まれ。専門は美学・芸術学。2023年より公益財団法人きょうと視覚文化振興財団理事。翻訳、A・シュマルゾー『芸術学の基礎概念』、A・リーグル『末期ローマの美術工芸』（共に中央公論美術出版）。



公益財団法人きょうと視覚文化振興財団

本財団は、京都の洋画家・須田国太郎(1891-1961)のご子息・故須田寛氏から、その遺産を須田国太郎が目指した日本の美術振興にあててほしいとの申し出があり、2019年11月、美術研究者を中心に発足しました。その後、2022年8月には公益財団法人に移行し、機関誌の発行、調査研究、連続講座やワークショップの開催、展覧会支援、展覧会企画などの活動を行っています。これらの活動に共鳴し、サポーターとして支援して頂ける会員(友の会会員/フォーラム会員/特別会員)を募集しています。

詳細は財団ホームページをご覧ください ▶ <https://kyoto-shikakubunka.com>